

公益社団法人 川口青年会議所

第179回通常総会資料



2024.9.5 川口市立青木会館
コミュニティールームAB

公益社団法人 川口青年会議所
Kawaguchi Junior-Chamber Incorporated

この通常総会資料は、再生紙を使用致しました

公益社団法人 川口青年会議所

公益社団法人 川口青年会議所

第179回通常総会 次第

日 時 2024年9月5日(木)
開 会 19:00 閉会21:00
会 場 川口市立青木会館コミュニティールームAB
司 会 細野 信隆 君

1. 点鐘 第60代理事長 廣瀬 翔 君
2. 開会宣言 高柳 皓太 君
3. 国歌斉唱
4. JCソング斉唱
5. JCI Creed 唱和 廣瀬 秋馬 君
6. JCI Mission 並びに JCI Vision 唱和 飯盛 雄太 君
7. JC宣言文朗読並びに綱領唱和 古澤 駿 君
8. 関東地区宣言唱和 境 友梨 君
9. オブザーバー紹介
10. 理事長挨拶 第60代理事長 廣瀬 翔 君
11. 3分間スピーチ 荻野 梓 君
12. 正会員認証
13. 会員慶事
14. 次年度理事長予定者への当選証書授与
15. 推薦人スピーチ
16. 議事 1. 議長の選出 2. 資料の確認及び定足数の確認 3. 議事録作成者及び署名人の指名
4. 【議事】
 - 4-1 2024年度補正収支予算書(案)承認に関する件
 - 4-2 2025年度理事 瀬川 智広 君選任(案)承認に関する件
 - 4-3 2025年度理事 中村 光義 君選任(案)承認に関する件
 - 4-4 2025年度理事 福田 隆広 君選任(案)承認に関する件
 - 4-5 2025年度理事 赤羽 孝太 君選任(案)承認に関する件
 - 4-6 2025年度理事 飯嶋 大祐 君選任(案)承認に関する件
 - 4-7 2025年度理事 廣瀬 大志 君選任(案)承認に関する件
 - 4-8 2025年度理事 細野 信隆 君選任(案)承認に関する件
 - 4-9 2025年度理事 荻野 梓 君選任(案)承認に関する件
 - 4-10 2025年度直前理事長兼監事 廣瀬 翔 君選任(案)承認に関する件
 - 4-11 2025年度監事 永井 光義 君選任(案)承認に関する件
 - 4-12 2025年度理事長候補者選出(案)承認に関する件
 - 4-13 2025年度組織図(案)承認に関する件
17. 次年度役員紹介
18. 各委員会の活動中間報告
19. 出向者報告
20. 連絡報告事項
21. 次回例会案内 60周年実行委員会
22. 出席率並びにニコニコボックス発表 高柳 皓太 君
23. 監事講評 監事 伊藤 孝弘 君
24. 若い我ら斉唱
25. 閉会宣言 高柳 皓太 君
25. 点鐘 第60代理事長 廣瀬 翔 君

審議一 1 公益社団法人川口青年会議所
2024年度 補正収支予算書（案）承認に関する件

修正収支予算書

2024年1月1日から12月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	その他1	その他2	共通	小計		
(1)経常収益											
受取入会金	0	0	0	192,000	192,000	0	0	288,000	288,000	0	480,000
受取入会金	0	0	0	192,000	192,000	0	0	288,000	288,000	0	480,000
受取会費	0	0	0	2,883,200	2,883,200	0	0	4,324,800	4,324,800	0	7,208,000
正会員受取会費	0	0	0	1,780,800	1,780,800	0	0	2,671,200	2,671,200	0	4,452,000
新入会員受取会費	0	0	0	254,400	254,400	0	0	381,600	381,600	0	636,000
特別会員受取会費	0	0	0	48,000	48,000	0	0	72,000	72,000	0	120,000
賛助会員受取会費	0	0	0	800,000	800,000	0	0	1,200,000	1,200,000	0	2,000,000
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
まちづくり事業収益	0	800,000	0	0	800,000	0	0	0	0	0	800,000
まちづくり事業収益	0	800,000	0	0	800,000	0	0	0	0	0	800,000
* 受取寄付金	0	2,300,000	0	0	2,300,000	0	0	0	0	0	2,300,000
* 寄付金収入	0	2,300,000	0	0	2,300,000	0	0	0	0	0	2,300,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138,084	138,084
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14
その他雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138,070	138,070
経常収益計	0	3,100,000	0	3,075,200	6,175,200	0	0	4,612,800	4,612,800	138,084	10,926,084
(2)経常費用											
事業費	0	3,693,387	1,941,296	0	5,634,683	114,125	1,770,059	0	1,884,184		7,518,867
賃借料	0	1,370,910	68,640	0	1,439,550	99,060	1,033,190	0	1,132,250		2,571,800
諸謝金	0	450,950	7,396	0	458,346	349	60,000	0	60,349		518,695
印刷製本費	0	698,950	50,120	0	749,070	10,539	173,198	0	183,737		932,807

修正収支予算書

2024年1月1日から12月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	その他1	その他2	共通	小計		
参加記念品費	0	205,000	0	0	205,000	3,564	37,128	0	40,692		245,692
慶弔費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
通信運搬費	0	5,336	168	0	5,504	252	103,233	0	103,485		108,989
振込手数料	0	55,000	490	0	55,490	361	30,310	0	30,671		86,161
通信・発送費	0	20,000	40,000	0	60,000	0	0	0	0		60,000
什器備品費	0	42,500	85,000	0	127,500	0	0	0	0		127,500
消耗品費	0	84,000	168,000	0	252,000	0	0	0	0		252,000
賃借料	0	390,594	781,188	0	1,171,782	0	0	0	0		1,171,782
ホームページ管理費	0	6,949	13,899	0	20,848	0	0	0	0		20,848
会議費	0	32,500	65,000	0	97,500	0	0	0	0		97,500
水道光熱費	0	50,000	100,000	0	150,000	0	0	0	0		150,000
給与手当	0	280,698	561,395	0	842,093	0	0	0	0		842,093
管理費											
通信・発送費										20,000	20,000
什器備品費										42,500	42,500
消耗品費										84,000	84,000
賃借料										390,594	390,594
ホームページ管理費										3,475	3,475
会議費										32,500	32,500
水道光熱費										50,000	50,000
給与手当										140,349	140,349
雑費										200,000	200,000
渉外費										108,000	108,000
慶弔費										0	0

I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取入金	30,000	×	16 名(正会員承認見込数)	480,000	480,000	480,000
受取会費						
正会員会費	144,000	×	32 名	4,608,000		
	96,000	×	1 名(休会者、育児休暇)	-96,000		
	60,000	×	1 名(前期退会者)	-60,000	4,452,000	
	144,000	×	0 名(後期退会者)	0		
新入会員会費 12000/月						
	144,000	×	0 名(1月入会)	0		
	120,000	×	0 名(2月入会)	0		
	108,000	×	1 名(3月入会)	108,000		
	96,000	×	0 名(4月入会)	0		
	84,000	×	1 名(5月入会)	84,000		
	72,000	×	0 名(6月入会)	0	636,000	
	60,000	×	1 名(7月入会)	60,000		
	48,000	×	3 名(8月入会)	144,000		
	36,000	×	3 名(9月入会)	108,000		
	24,000	×	4 名(10月入会)	96,000		
	12,000	×	3 名(11月入会)	36,000		
特別会員会費収入	30,000	×	4 名(本年度ご卒業生)	120,000	120,000	
賛助会員会費収入				0	0	
シニアクラブ				2,000,000	2,000,000	
賛助会員				0	0	
その他				0	0	
事業収入						
登録料収入						
総務広報 第3回かわロゲ	3,500	×	200 人(大人)	700,000	800,000	
総務広報 第3回かわロゲ	1,000	×	100 人(子供)	100,000		
受取寄付金						
寄付金収入						
協賛金収入						
川口市	200,000	×	1	200,000		
総務広報事業	50,000	×	6 社	300,000	900,000	
総務広報事業	20,000	×	20 社	400,000		
HPバナー広告	20,000	×	20 社	400,000	400,000	
60周年記念事業	100,000	×	2 社	200,000		
60周年記念事業	50,000	×	4 社	200,000	1,000,000	
60周年記念事業	20,000	×	30 社	600,000		
雑収入						
受取利息収入	14	×	1	14	14	
その他雑収入						
川口青年経済人連絡協議会事務局委託費	10,800	×	12 ヶ月	129,600	129,600	
自動販売機設置料	8,470	×	1	8,470	8,470	
経常収益計						
(2) 経常費用						
事業費						
1. 60周年実行委員会				1,561,184		
2. 60周年記念事業委員会				1,316,146		
3. 総務広報委員会				1,700,000	4,797,144	
4. 特別理事(拡大)				126,814		
5. 副理事長(ブロック)				43,000		
6. 専務室(遺言例会)				50,000		
管理費						
通信・発送費 例会及び理事会通知等				80,000	80,000	
什器備品費 コピー機リース料				170,000	170,000	
消耗品費 JCI手帳700円×(出向者数+αを含む)、事務局内消耗品、印刷費				336,000	336,000	
賃借料 事務局内賃料支出	130,198	×	12	1,562,376	1,562,376	
ホームページ管理・制作				24,323	24,323	
1. 60周年実行委員会				5,000		
2. 60周年記念事業委員会				20,000		
会議費 3. 総務広報委員会				5,000	130,000	
理事会費支出				0		
総会費支出				100,000		
水道光熱費					200,000	
1月~7月 541242円						
給与手当 ①(基本計算1028円×5h×16日×5ヶ月)				982,442	982,442	
②残業代30,000						
雑費				200,000	200,000	
渉外費 京都會議	8,000	×	1	8,000	108,000	
他団体渉外費	100,000	×	1	100,000		
税理士10,000×12月分	10,000	×	12 ヵ月	120,000		
事務委託費 社労士6,600	6,600	×	1	6,600	136,600	
司法書士10,000	10,000	×	1	10,000		
諸会費 川口青年経済人連絡協議会	1,700	×	32 名	54,400	199,400	
諸団体事業協賛金	145,000	×	1	145,000		
手帳作成費	610	×	450 冊	274,500	274,500	
JCI負担金	1,573	×	32 名	50,336	75,504	
	1,573	×	16 名(年間新入会員)	25,168		
①基本額	30,000	×	1	30,000		
日本JC負担金 ②付加金	5,000	×	32 名(継続会員)	160,000	235,000	
	5,000	×	2 名(前期新入会員)	10,000		
	2,500	×	14 名(後期新入会員)	35,000		
①基本額	10,000	×	1	10,000		
関東地区負担金 ②付加金	1,000	×	32 名(継続会員)	32,000	44,000	
	1,000	×	2 名(前期新入会員)	2,000		
①基本額	20,000	×	1	20,000		
埼玉ブロック負担金 ②付加金	6,000	×	32 名(継続会員)	192,000	224,000	
	6,000	×	2 名(前期新入会員)	12,000		
国際協力基金	1,825	×	32 名(継続会員)	58,400	62,050	
	1,825	×	2 名(後期新入会員)	3,650		
日本JC出向者負担金	20,000	×	5 名		100,000	
雑誌購読料 月/250	3,000	×	32 名(継続会員)	96,000		
	3,000	×	0 名(1月入会)	0		
	2,500	×	0 名(2月入会)	0		
	2,250	×	1 名(3月入会)	2,250		
	2,000	×	0 名(4月入会)	0		
	1,750	×	1 名(5月入会)	1,750	109,250	
	1,500	×	0 名(6月入会)	0		
	1,250	×	1 名(7月入会)	1,250		
	1,000	×	3 名(8月入会)	3,000		
	750	×	3 名(9月入会)	2,250		
	500	×	4 名(10月入会)	2,000		
	250	×	3 名(11月入会)	750		
経常費用計						
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
中科目別記載				0	0	
(2) 経常外費用						
減価償却費				0	0	
他会計振替額				0	0	
当期一般正味財産増減額					875,495	
一般正味財産期首残高				2,297,520		
一般正味財産期末残高					3,173,015	
II 指定正味財産増減の部						
受取補助金等				0	0	
一般正味財産への振替額				0	0	
当期指定正味財産増減額				0	0	
指定正味財産期首残高				0	0	
指定正味財産期末残高				0	0	
III 正味財産期末残高						
0	×	1	2025年分	0		
0	×	1	2026年分	0		
0	×	1	2027年分	0	0	
0	×	1	2028年分	0	0	
65周年2029年度						
0						
周年費用差引 本会計						
3,173,015						

科目	2024年9月補正収支	2024年1月補正予算	比較増減	%
(1)経常収益				
受取入会金	480,000	480,000	0	4.39%
受取入会金	480,000	480,000		
受取会費	7,208,000	7,928,000	△ 720,000	65.97%
正会員受取会費	4,452,000	4,608,000	△ 156,000	
新入会員受取会費	636,000	1,200,000	△ 564,000	
特別会員受取会費	120,000	120,000	0	
賛助会員受取会費	2,000,000	2,000,000	0	
その他				
事業収入	800,000	800,000	0	7.32%
登録料収入	800,000	800,000	0	
受取寄付金	2,300,000	2,200,000	100,000	21.05%
寄付金収入			0	
協賛金収入	2,300,000	2,200,000	100,000	
雑収益	138,084	138,084	0	1.26%
受取利息	14	14	0	
その他雑収益	138,070	138,070	0	
経常収益計	10,926,084	11,546,084	△ 620,000	100.00%
(2)経常費用				
事業費	4,797,144	5,730,000	△ 932,856	47.73%
管理費	5,253,445	5,309,295	△ 55,850	52.27%
通信・発送費	80,000	80,000	0	
什器備品費	170,000	170,000	0	
消耗品費	336,000	336,000	0	
事務局賃借料	1,562,376	1,562,376	0	
ホームページ管理費	24,323	24,323	0	
会議費	130,000	130,000	0	
水道光熱費	200,000	200,000	0	
給与手当	982,442	918,192	64,250	
雑費	200,000	200,000	0	
渉外費	108,000	108,000	0	
事務委託費	136,600	146,600	△ 10,000	
諸会費	199,400	196,200	3,200	
印刷製本費	274,500	274,500	0	
J C I 負担金	75,504	75,504	0	
日本 J C 負担金	235,000	255,000	△ 20,000	
関東地区負担金	44,000	52,000	△ 8,000	
埼玉ブロック負担金	224,000	272,000	△ 48,000	
国際協力基金	62,050	87,600	△ 25,550	
日本 J C 出向者負担金	100,000	100,000	0	
雑誌購読料	109,250	121,000	△ 11,750	
減価償却費	0	0	0	
経常費用計	10,050,589	11,039,295	△ 988,706	100.00%
評価損益等調整前当期経常増減額	875,495	506,789	368,706	
当期経常増減額	875,495	506,789	368,706	
経常外増減の部				
(1)経常外収益計				
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	875,495	506,789	368,706	
一般正味財産期首残高	2,297,520	2,297,520	0	
一般正味財産期末残高	3,173,015	2,804,309	368,706	
特定費用準備資金制度運用 65周年積立金 2024年、25、26、27年分	0			

- 審議一 2 公益社団法人川口青年会議所
2025年度 理事 瀬川 智広 君 選任（案）承認に関する件
- 審議一 3 公益社団法人川口青年会議所
2025年度 理事 中村 光彦 君 選任（案）承認に関する件
- 審議一 4 公益社団法人川口青年会議所
2025年度 理事 福田 隆広 君 選任（案）承認に関する件
- 審議一 5 公益社団法人川口青年会議所
2025年度 理事 赤羽 孝太 君 選任（案）承認に関する件
- 審議一 6 公益社団法人川口青年会議所
2025年度 理事 飯嶋 大祐 君 選任（案）承認に関する件
- 審議一 7 公益社団法人川口青年会議所
2025年度 理事 廣瀬 大志 君 選任（案）承認に関する件
- 審議一 8 公益社団法人川口青年会議所
2025年度 理事 細野 信隆 君 選任（案）承認に関する件
- 審議一 9 公益社団法人川口青年会議所
2025年度 理事 荻野 梓 君 選任（案）承認に関する件
- 審議一 10 公益社団法人川口青年会議所
2025年度 直前理事長兼監事 廣瀬 翔 君 選任（案）承認に
関する件
- 審議一 11 公益社団法人川口青年会議所
2025年度 監事 永井 光義 君 選任（案）承認に関する件

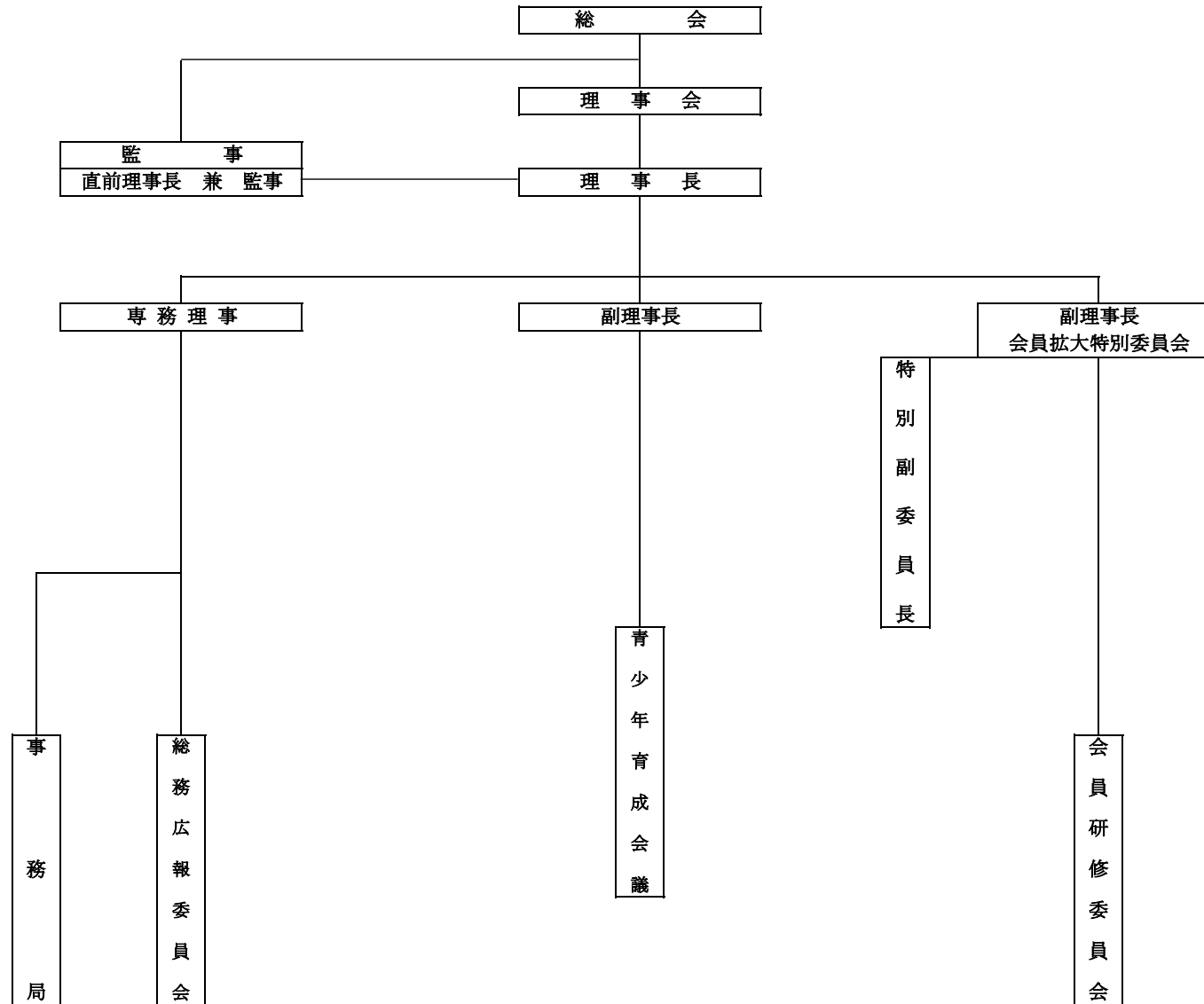
2025年度 役員（案）

役 職 名	氏 名
理 事	瀬川 智広
理 事	中村 光彦
理 事	福田 隆広
理 事	赤羽 孝太
理 事	飯嶋 大祐
理 事	廣瀬 大志
理 事	細野 信隆
理 事	荻野 梓
直前理事長 兼 監事	廣瀬 翔
監 事	永井 光義

審議一 13 公益社団法人川口青年会議所
2025年度 理事長候補者選出（案）承認に関する件

審議一 14 公益社団法人川口青年会議所
2025年度 組織図（案）承認の件

公益社団法人 川口青年会議所 2025年度 組織図 (案)



參考資料

「共生共栄」

～人と人との繋がりから明るい未来へ～

基本方針

1. 全員での拡大と JAYCEE の育成
2. 市民に広く周知する広報と厳格な組織運営
3. 協調性を育む青少年事業と能動的な市民の創出

【はじめに】

川口青年会議所は昨年60周年を迎えることができました。時代の流れに沿った社会の課題を解決するために会員が心血を注ぎ、運動を展開し一歩ずつ進んできたからこそ60年という長い歴史を紡いで来ることができたのです。2025年度はこれまでの歴史や伝統を受け継ぎ、そして昨年改めて策定した5年先までのビジョンを念頭に置き運動を展開して参ります。

青年会議所は明るい豊かな社会を築き上げるため活動を行いますが、それは決して一人の力で出来るものではなく、一人ひとりの力の結集が行政や関係諸団体、企業、市民へと繋がり、大きな力となってまちに影響を与えることができます。様々な運動を展開していくためにもまずは我々青年会議所のメンバーが起点となり、人と人との繋がりを大切にするとともに、これまで培ってきた行政、関係諸団体、パートナーシップ企業との関係性をより強固にし、市民へと運動を広げていく必要があります。

【共生共栄】

共生共栄とは、足りないものを補い合いながら、共に心を豊かにし生きていくことです。青年会議所に置き換えて考えると、足りないものを補うとは、できないことを代わりにしてあげるのではなく、共に協力し事業を構築し、全力で取り組むことであり、共に心を豊かにし生きていくこととは、楽しさだけを感じるのではなく、苦楽を共にすることで成長し、その成長こそが心を豊かにしてくれることです。また、これはメンバーに限ったことではありません。青年会議所は単年度制であり、1年ごとに様々な運動を行っておりますが、その年その年で繋がった方々との関係は次の年も続いていきます。共生共栄

の心を持って、これまで川口青年会議所とパートナーシップ協定を締結いただいた企業、川口市内の関係諸団体との関係性を深め、連携して事業を行うことでより良い地域になると確信しております。

【全員での拡大と JAYCEE の育成】

・全員での拡大

私たちは明るい豊かな社会を築こうと集まった「団体」であり、1人よりも5人、5人よりも10人と多くのメンバーで活動する方がより大きな運動を興すことができるのは当然です。しかしながら、現在メンバー数は減少傾向にあるため、会員拡大は会全体として取り組むべき重要な課題であります。来年度以降、50名以上のメンバーで運動できるようにするため、本年度20名以上の会員拡大を目標に行って参ります。先輩諸兄姉や関係諸団体の繋がりを活かして情報を集めるのはもちろん、ビジネスセミナーを行い、新たな拡大対象者を呼び込み、青年会議所に所属するメリットを感じる内容の例会を設営していただきます。そして毎月委員会ごとにメンバー全員からの拡大情報を共有し、担当委員会だけでなく、メンバーの誰もが拡大の意識を持てるよう委員会運営を行い、各委員会での拡大目標を決めていただきます。メンバー同士連携を取りながら速やかにアプローチができるように全員での拡大に取り組んで参ります。そして拡大対象者に川口青年会議所をより知っていただき、メンバーとの関係性を築くためにも異業種交流会を企画していただきます。

・ JAYCEE の育成（ JAYCEE プライドの確立）

右も左もわからない状況の新入会員にとって、最初の1年はこれからの J C 生活を送る上で非常に重要な時間となります。今後の川口青年会議所を担うメンバーに一人ひとりが成長していくためにもまずは青年会議所運動に取り組む考え方や知識、行動を学んでいただきます。入会したメンバーに J C プロトコルなどを使用しながら JAYCEE としての基礎知識を伝えていくとともに、献血会、新春祝賀会、親睦会、卒業式・忘年会の設営を通じて60年の歴史や伝統を学びながら、厳格な設営を習得していただきます。そして他の委員会に積極的にオブザーブし、川口青年会議所がまちに必要とされている団体だと認識していただくとともに、LOM以外の日本、関東地区、埼玉ブロックの事業にも参加することで楽しさやスケールメリットを感じていただきます。

【市民に広く周知する広報と厳格な組織運営】

・市民に広く周知する広報と厳格な組織運営（We are 川口 J C ! と川口ブランドの創造）

年間を通してホームページの管理と合わせて、SNS やネット広告を使用した発信を行い、「We are 川口 J C !」 私たちが川口青年会議所であると多くの人々に認知してい

ただけるよう委員会運営を行っていただきます。また、昨年中期ビジョンとして、「川口ブランドの創造」、川口の魅力の再発見、向上、そして新たな魅力の創造をすると決めました。今年で4回目となる、サイクルロゲイニング in 川口（通称かわログ）は川口の魅力を伝えることができる事業ですが、本年度は例年同様、川口の魅力を伝えるとともに、新たな魅力の創造として川口青年会議所のチェックポイントを作っていただきます。これまでご協力いただいていたパートナーシップ企業についても相互関係を深めつつ事業構築をしていただきます。

総務としては、理事会の設営、予算の管理、会として必要な申請などの手続き、年3回の総会の設営を担い、本年度は新たに事務局の在り方や、会費の徴収方法など、今まで行ってきた運営方法について、現在の川口青年会議所として適しているのかを改めて見直し、より良い運営方法を模索していただくとともに、2015年以来、公益社団法人となつてから10年となる本年、改めて現在の組織の在り方について見直し、公益社団法人か一般社団法人か、どちらの法人格がより良いのか、メンバー全員に向けて発表し、決議していただきます。

【協調性を育む青少年事業と能動的な市民の創出】（かわぐちびとの創出）

近年、都市化の進展による遊びの空間の減少や、少子化による兄弟姉妹や友達の減少なども一因となり、子供が外に出て遊ぶということが少なくなっています。川口市のアンケート調査では「遊びの機会が減少した」との回答が78%にもなりました。その一方で、「子供の成長に遊びは大切」との回答が95%を占め、子供にとって遊ぶことは、体力の向上や運動能力の育成だけでなく、意欲や気力の増幅、コミュニケーション能力の発達にも影響を与えることから、川口市では、川口市子どもの遊び推進条例を定めました。大切なことは友達と実際に体を使って感じる体験をすることです。人と触れ合うことでコミュニケーション能力を育み、体を動かし感じた体験が意欲を高め、体力の向上にも繋がります。遊びの機会が減少している今、人と触れ合いながら、子供たちの感性を広げられる体験型の事業を行い、子供たちの協調性を育んでいただきます。

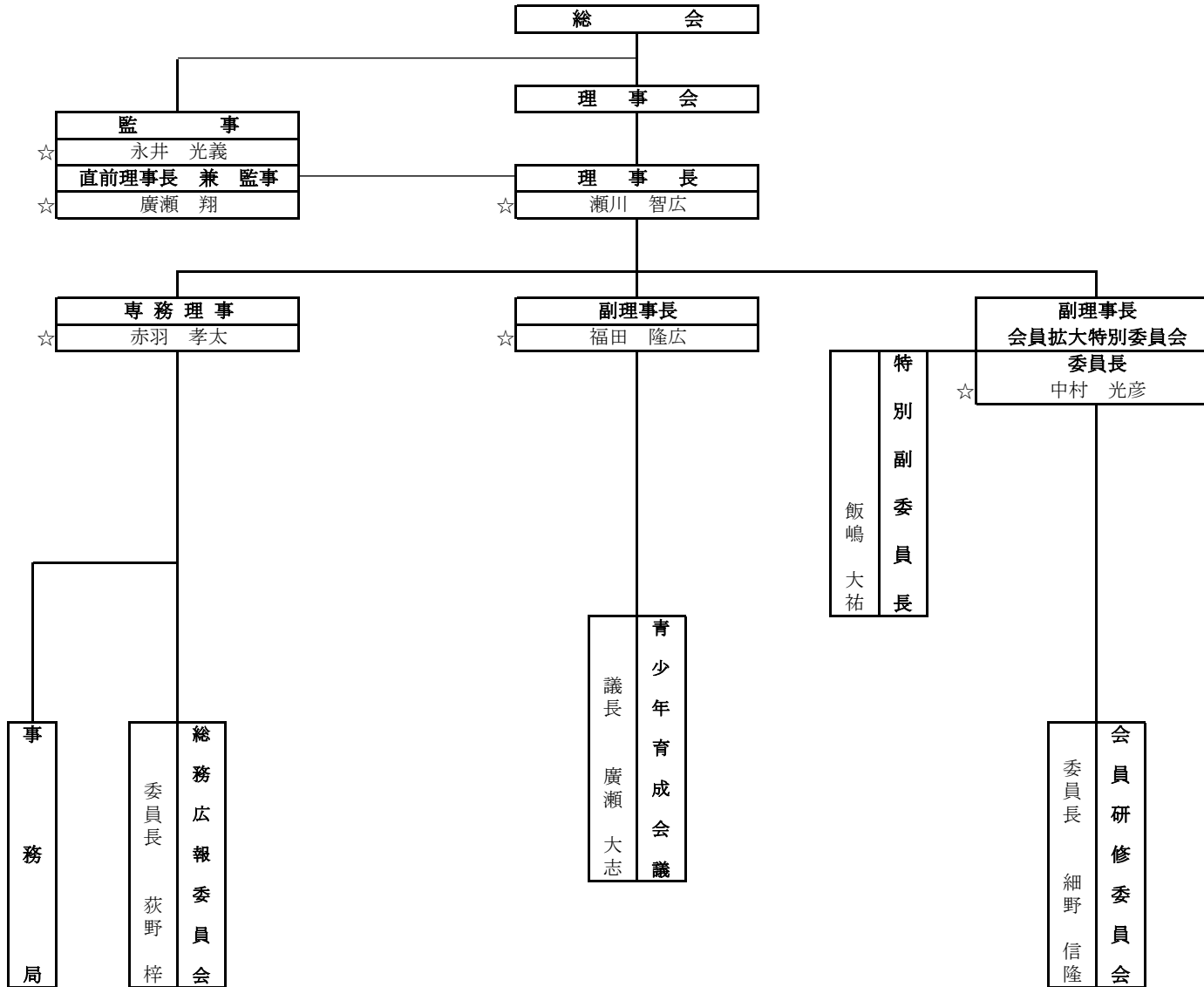
また、遊びの推進に必要な取り組みとして「遊びの必要性及び重要性の認識、理解の促進」が挙げられており、遊びの当事者である子供だけでなく、その周囲の大人、社会全体が遊びに対する意識を変えていかなければなりません。子供たちの保護者だけでなくボランティアを巻き込み、川口をより良くしよう、子供たちの成長の手助けをしようとして行動する「かわぐちびと」を創出いたします。

【おわりに】

私は川口青年会議所と出会っていなければ朝も夜も休みなく、ただ日々現場作業に追われていたと思います。入会当初は青年会議所の活動に積極的ではなかった私ですが、ずっと声をかけ続けていただいた何人もの先輩諸兄姉がいて、メンバーがいて、少しずつ青年

会議所の活動に参加するようになり、青年会議所活動をするために会社の仕組みを変え、時間を調整することを覚え、気が付くと自分自身を成長させてくれ、さらには家族や社員にまで良い影響を与えてくれました。青年会議所は困難も多いですが、だからこそその困難を乗り越えたときには自分自身を成長させてくれます。そしてその困難を乗り越えるとき、周りには同じ世代の仲間がいます。活動を通じて出会った人たちとの繋がりはこれからの人生においてかけがえのない財産です。この時代に共に生きる仲間たちと、共に成長し、地域を変えることで、明るい未来になると信じています。

公益社団法人 川口青年会議所 2025年度 役員組織図 (案)



☆印はスタッフ会議メンバーとする